



2012年12月期 決算説明会

内外トランスライン株式会社

代表取締役社長 戸田徹

2013年2月22日

◆内外トランスラインは

NVOCC

外航海運利用運送業

Non-Vessel Operating Common Carrier

わたしたちは、お客さまに**最適・最速の輸送サービス**を提供する国際海上輸送の**プロ**です。



◆ NVOCCとは

船舶を自ら所有せず、船会社のスペース（船腹）を利用して、主にお客様の小口貨物の海上輸送と付随サービスを提供します。

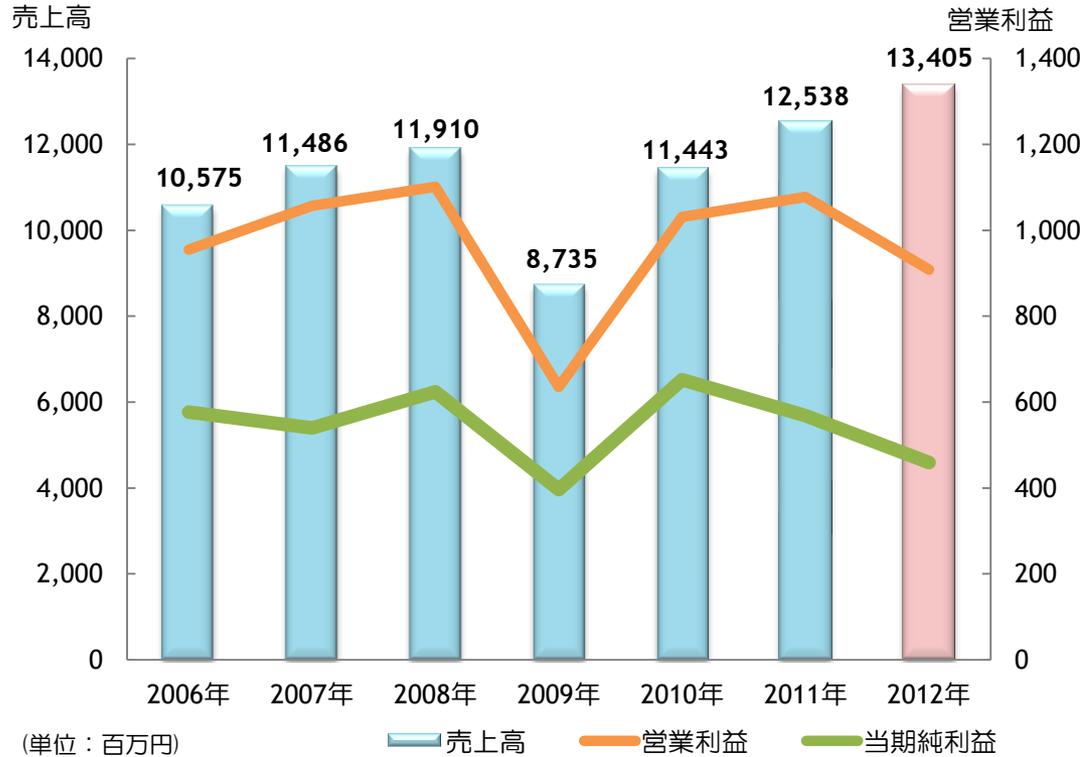
	船社 (実運送)	NVOCC・フォワーダー (利用運送)
船舶保有	○	X
対応フローの範囲	出港港～入港港	荷主～荷受人
小口貨物(混載)取扱	X	○
フルコンテナ貨物取扱	○	○
運賃変動リスク	○	X
為替変動リスク	○	△
主な収益源	運賃	運賃・取扱手数料

I. 2012年12月期 決算概要



1-1 2012年12月期決算総括

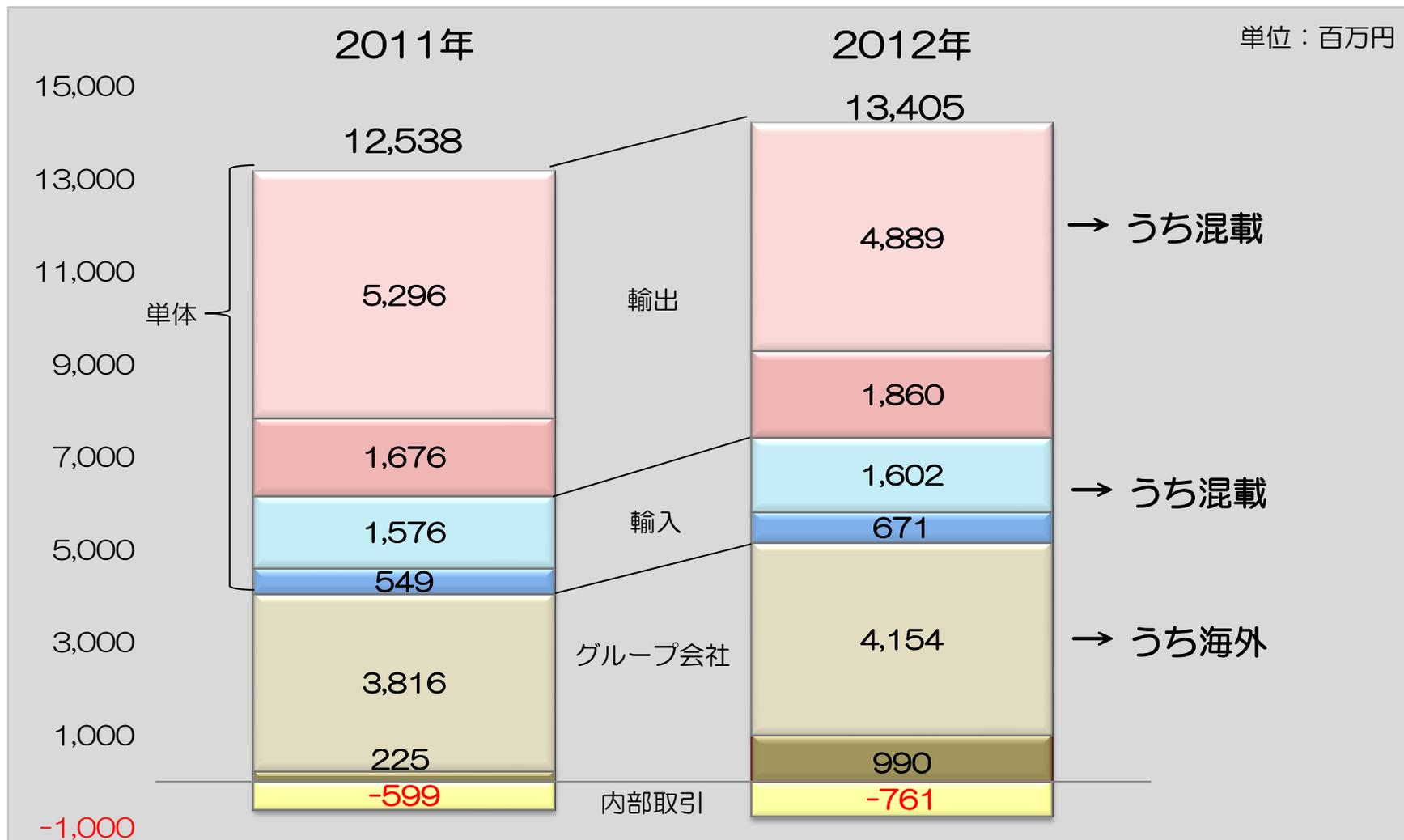
- 売上高** → グループ会社を中心に 6.9%の増収
- 営業利益** → 販売管理費増加(10.5%)等により15.8%の減益
- 当期純利益** → 米国子会社ののれん減損損失の計上により19.2%の減益



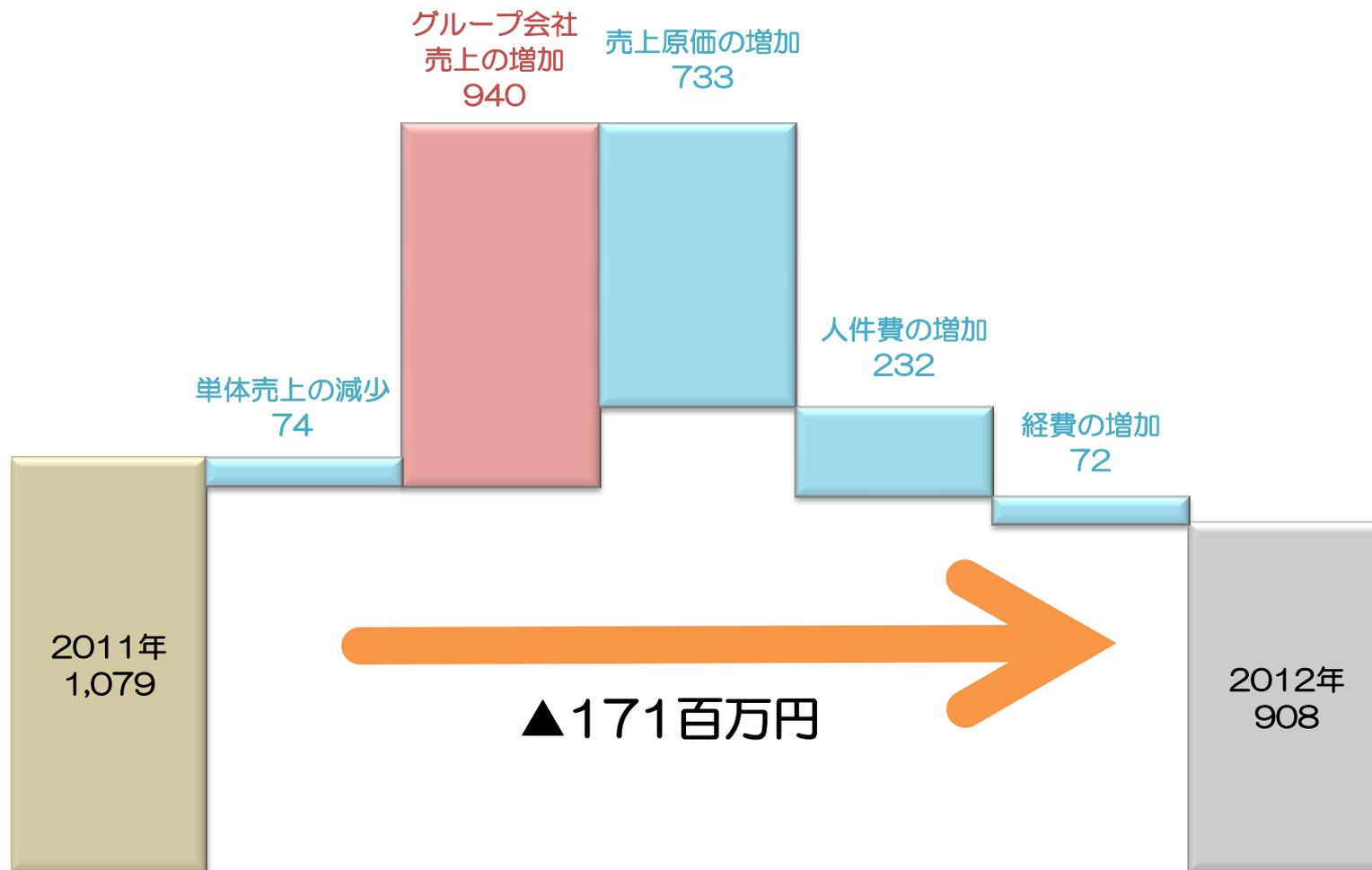
1-2 連結売上高及び損益の概要

単位：百万円	2011	2012	増減額	増減率
売上高	12,538	13,405	867	6.9%
売上原価	8,557	9,290	733	8.6%
売上総利益	3,981	4,115	133	3.4%
販管費	2,902	3,206	304	10.5%
営業利益	1,078	908	-170	-15.8%
経常利益	1,046	975	-71	-6.8%
当期純利益	568	459	-109	-19.2%

1-3 連結売上高増収の内訳



1-4 連結営業利益の減益要因



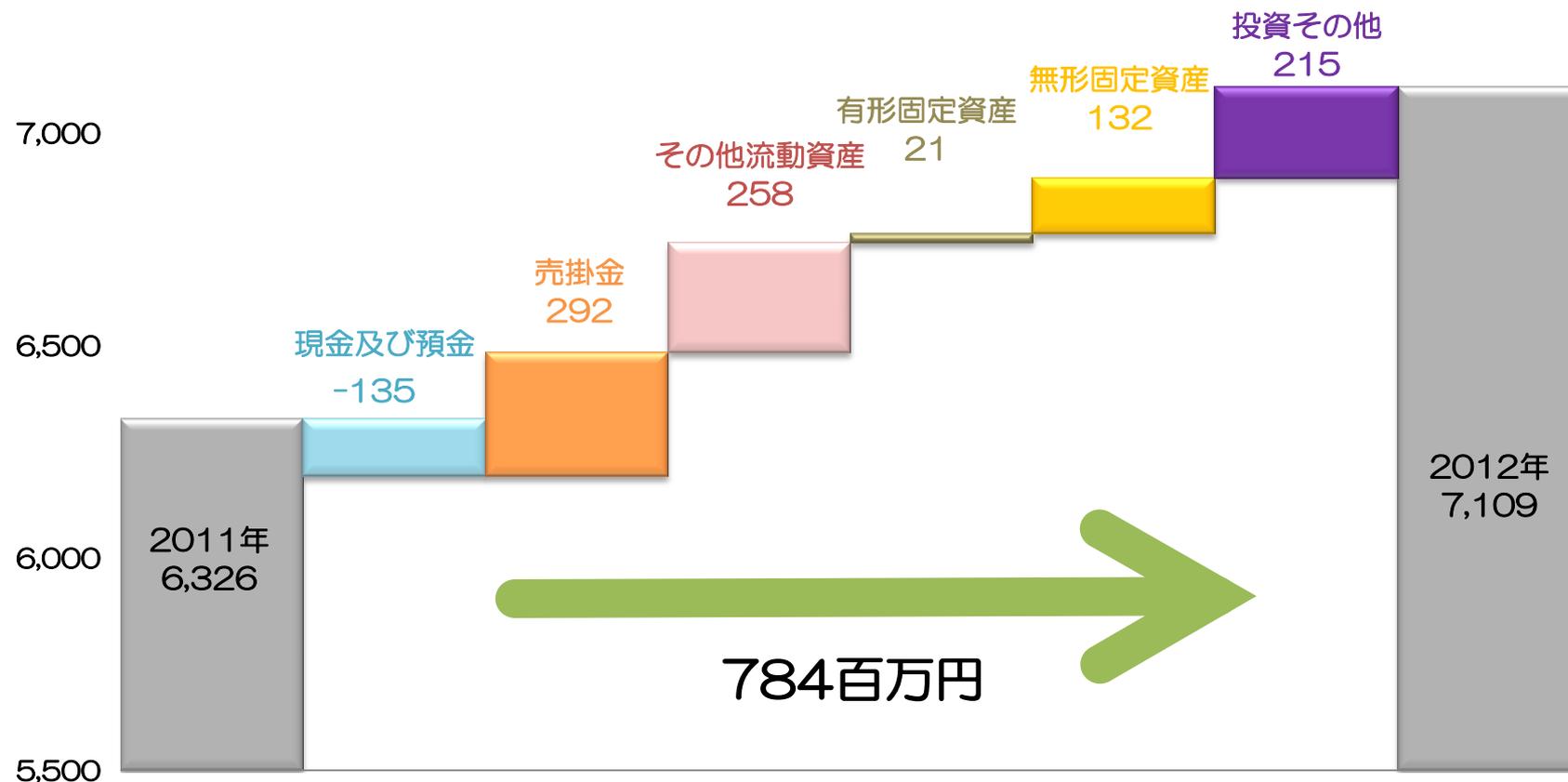
1-5-1 連結貸借対照表の概要（借方）

単位：百万円	2011	2012	増減額
流動資産	4,573	4,988	415
有形固定資産	612	633	21
無形固定資産	425	558	132
投資その他	715	931	215
資産合計	6,326	7,110	784

1-5-2 連結貸借対照表増減要因（借方）

総資産

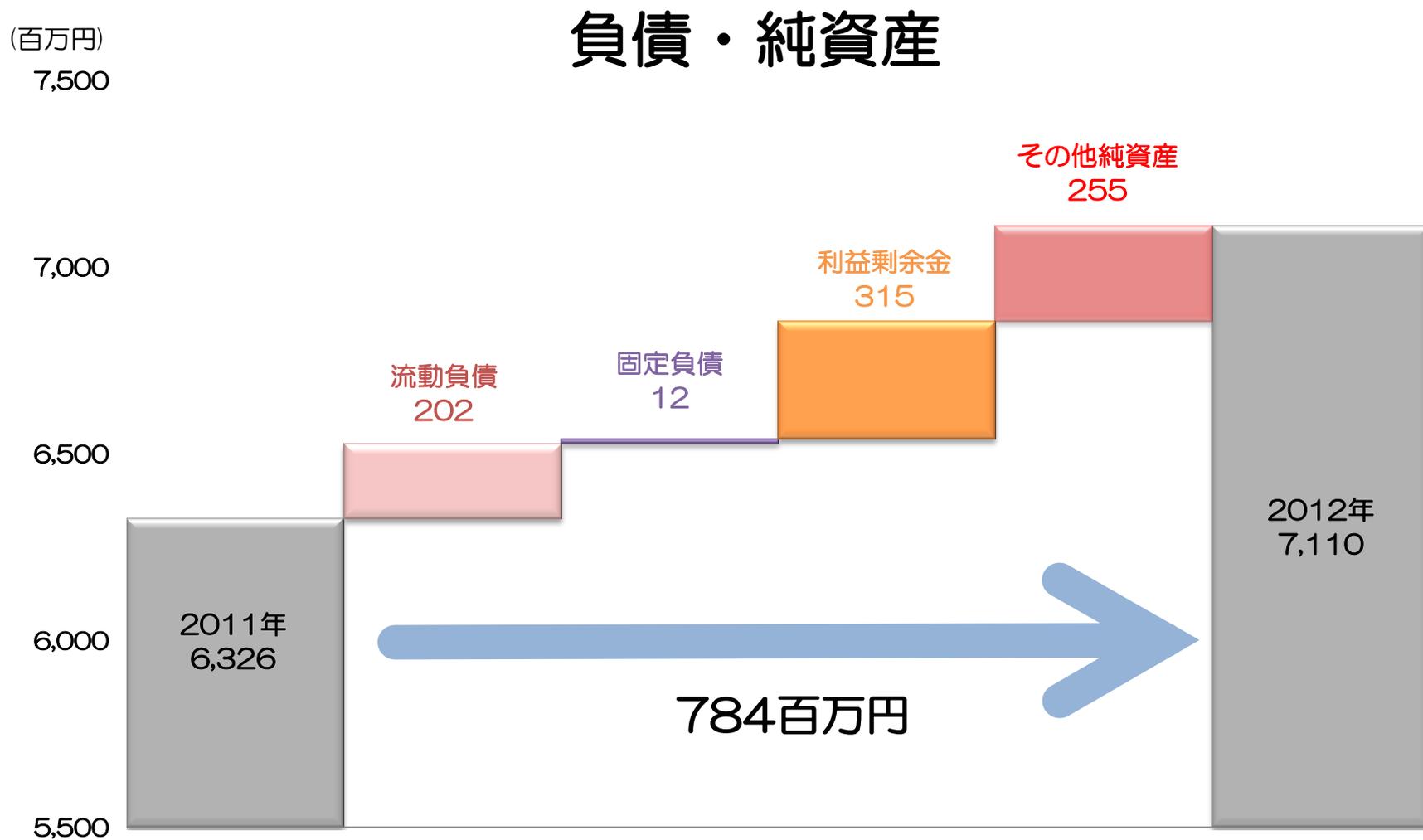
(百万円)
7,500



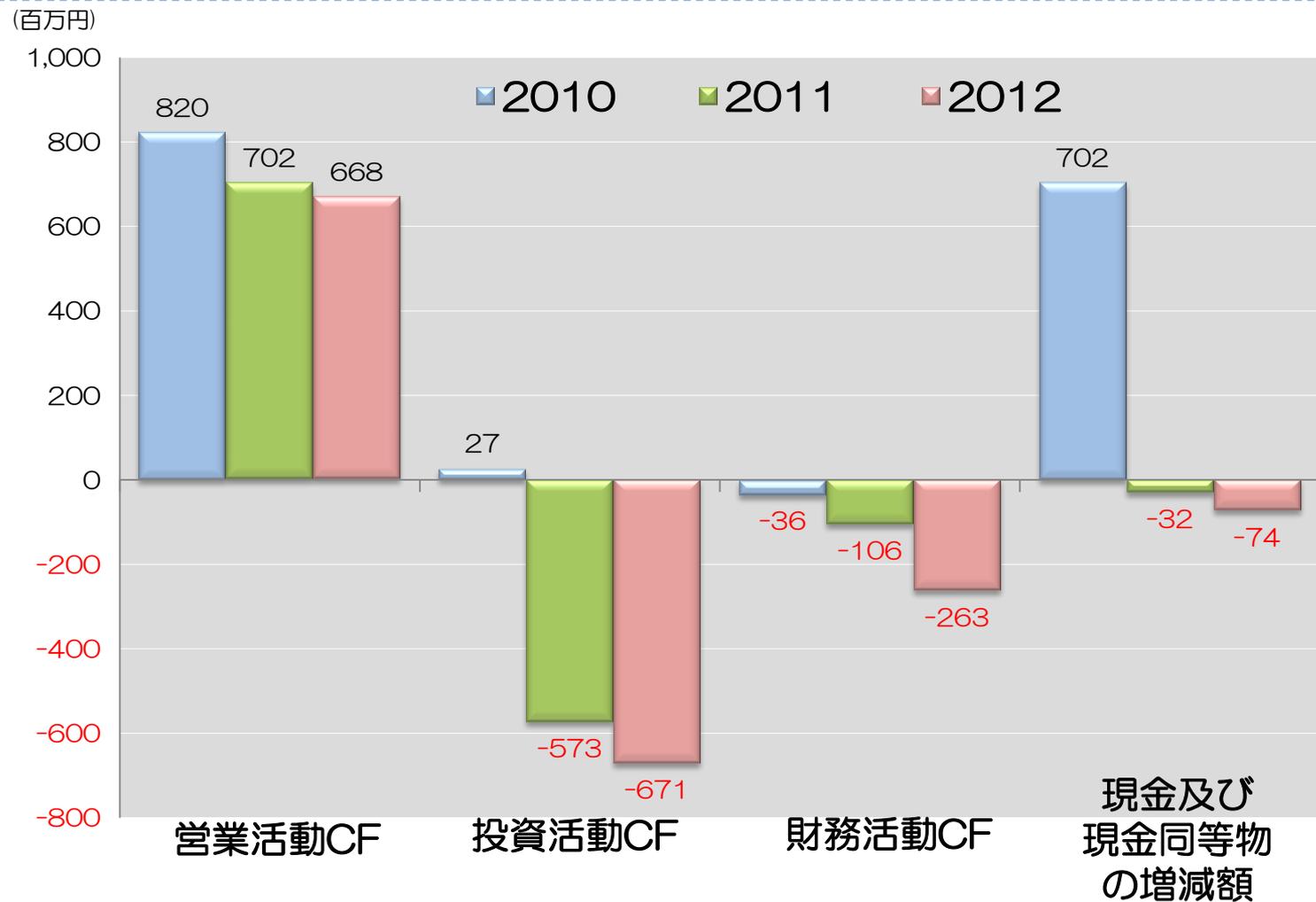
1-5-3 連結貸借対照表の概要（貸方）

単位：百万円	2011	2012	増減額
流動負債	1,029	1,232	202
固定負債	255	268	12
負債合計	1,285	1,499	214
株主資本計	5,379	5,705	326
その他	-339	-95	245
純資産合計	5,040	5,611	570
負債・純資産	6,326	7,110	784

1-5-4 連結貸借対照表増減要因 (貸方)



1-6-1 連結キャッシュフローの推移



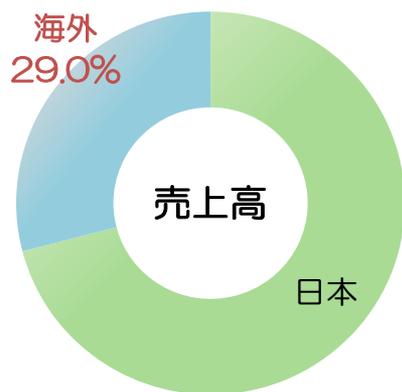
1-6-2 連結キャッシュフロー増減要因

単位：百万円	2011	2012	増減額	主な増減要因	金額
営業活動による キャッシュ・フロー	702	668	-34	税前当期純利益減少	△43
投資活動による キャッシュ・フロー	-573	-671	-98	貸付けによる支出	△205
財務活動による キャッシュ・フロー	-106	-263	-157	借入金の減少	△151
現金及び現金同等物 の残高	3,533	3,459	-74		

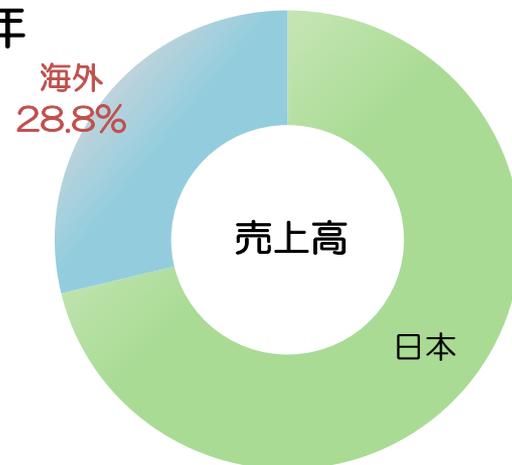
1-7 セグメント別売上高及び営業利益

単位：百万円		2011年	2012年	増減率
日本	売上高	9,321	10,006	7.3%
	営業利益	782	638	-18.4%
海外	売上高	3,816	4,038	5.8%
	営業利益	342	331	-3.2%
合計	売上高	13,138	14,045	6.9%

2011年



2012年



内部取引調整前

1-8 トピックス

株式会社ユーシーアイ
エアフレイトジャパン
を買収

同社が強みを持つ国際航空貨物輸送業務を
梃にグループの商品ラインナップを強化

米国子会社を一社に統合

二社統合による一体運営により、経営体質
と競争力を強化

中国現法青島支店を開設

日系進出企業のサポートと中韓ビジネスで
のサービス展開力を構築

Ⅱ. 中期経営計画進捗状況



2-1 中期経営計画の基本方針

売上目標



2010
114億

利益目標

営業利益率
10%以上

輸出混載
を基軸に

売上構成
の質的変革

グローバル
ネットワーク
の完成

人材への
投資と育成

国際総合フレート
フォワードナー

2-2 中期経営計画の進捗状況

(1) 目標達成のための基盤強化

(株)ユーシーアイエアフレイトジャパンを買収し、本格的に航空輸送業に進出した。

(2) 首都圏比率及び輸入比率の拡大(単体)

首都圏比率は前年比0.3ポイントの微増となった。

輸入比率は売上金額ベースで前年比1.8ポイント拡大した。

(3) グローバルネットワークの拡充

中国現地法人にて青島支店を開設し、中国におけるネットワークを拡充した。

Ⅲ. 2013年度 事業計画



3-1 外部経済環境

プラス要因

- * 新政権による景気浮揚策の導入
- * 昨年末以来定着しつつある円安の傾向
- * 米国の「財政の崖」問題の回避による景気回復の見込
- * 高い経済成長性が見込まれるアジアに当社は強み

マイナス要因

- * 中国との政治軋轢（尖閣諸島問題等）
- * 欧州債務危機の先行きは未決着
- * 地域経済ブロック化進展による域外貿易減少懸念
- * モジュール化進展による生産拠点の海外移転拡大

3-2 基本方針

① 売上高と利益目標

- ・ 連結売上高150億円、営業利益13億円をめざす
(想定為替レート：1US\$=85円)

② 総合フォーワーディング事業の推進

- ・ 空運、通関、倉庫、国内輸送の育成、3PL事業の推進

③ 輸入営業の拡大

- ・ ドアデリまでの一貫体制構築等で輸入売上割合を26%以上に引き上げる

④ 組織・体制の強化

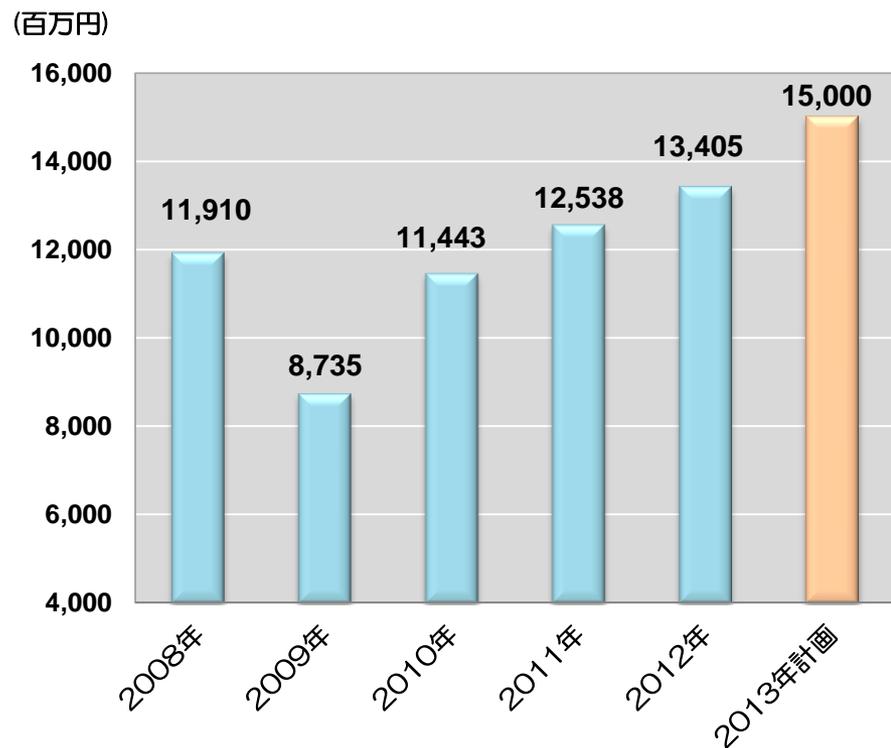
- ・ 営業資源の首都圏シフトと営業体制の再構築

⑤ 人材育成計画

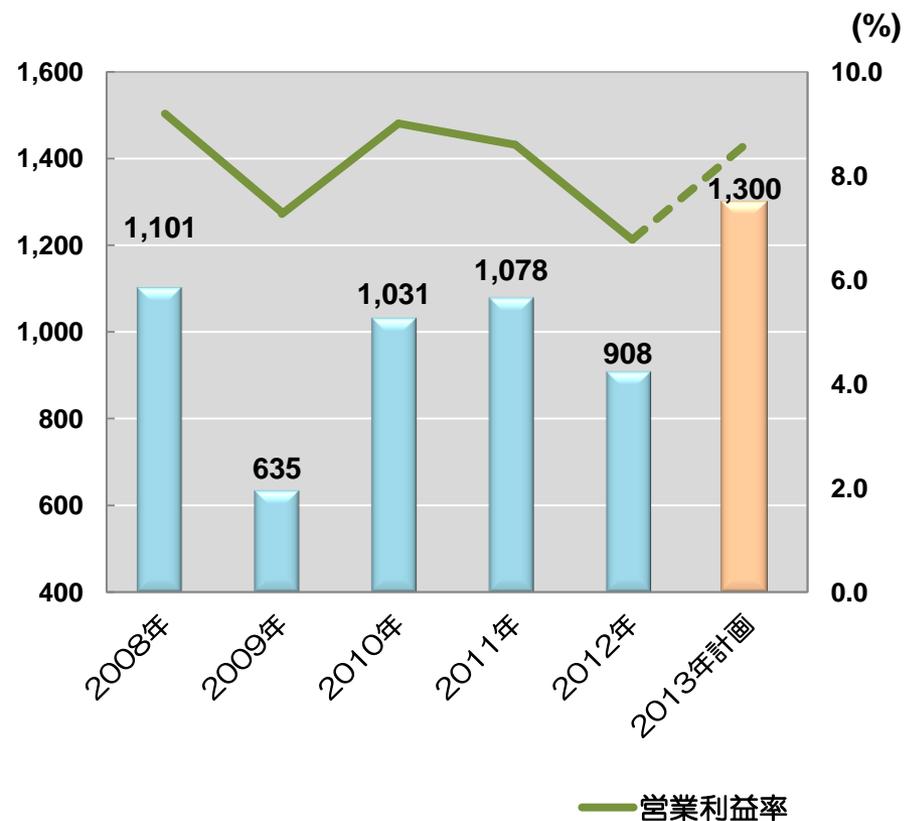
- ・ 長期ビジョンに立った採用と世界で通用する人材の育成

3-3 連結売上高と営業利益計画

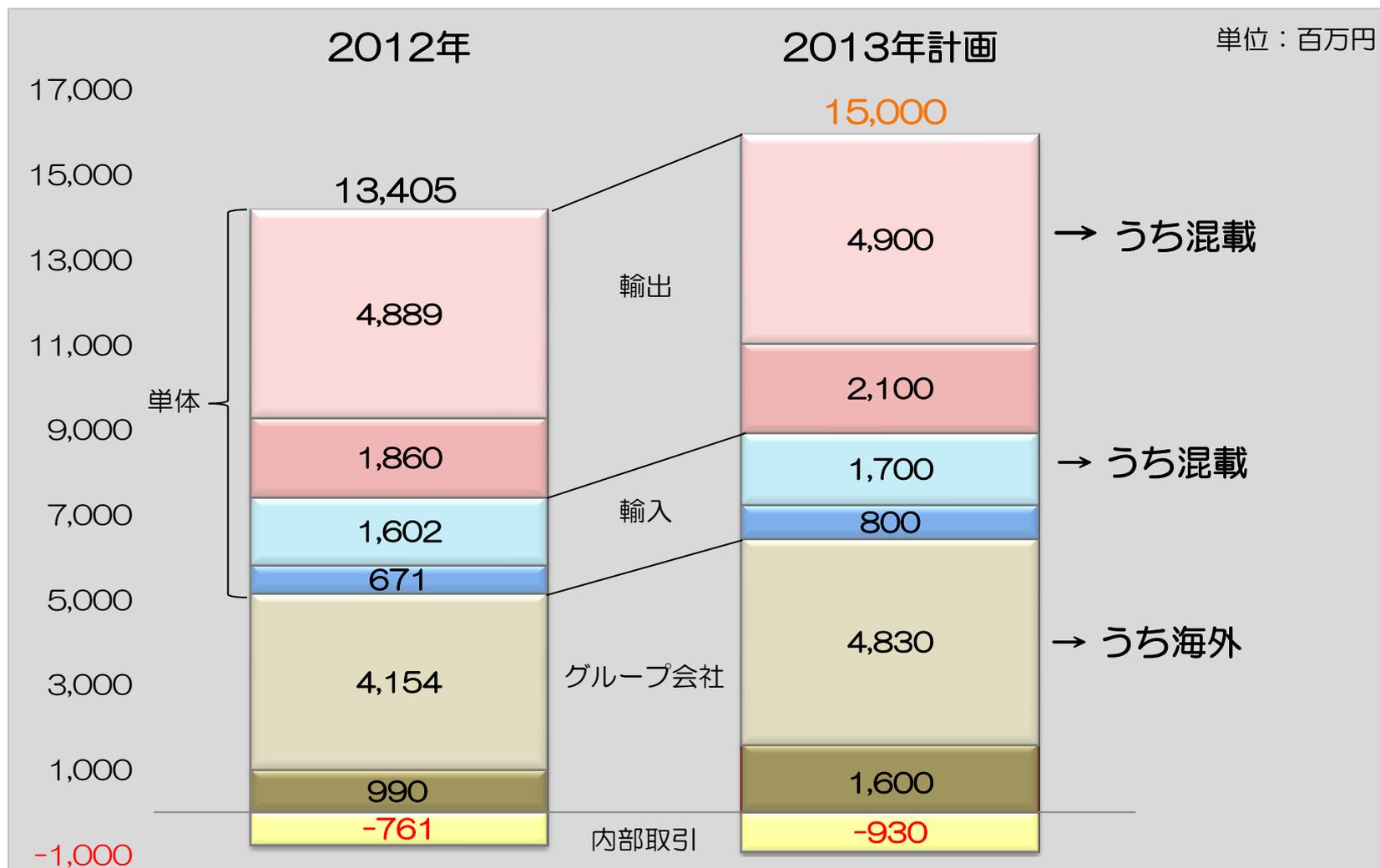
売上高



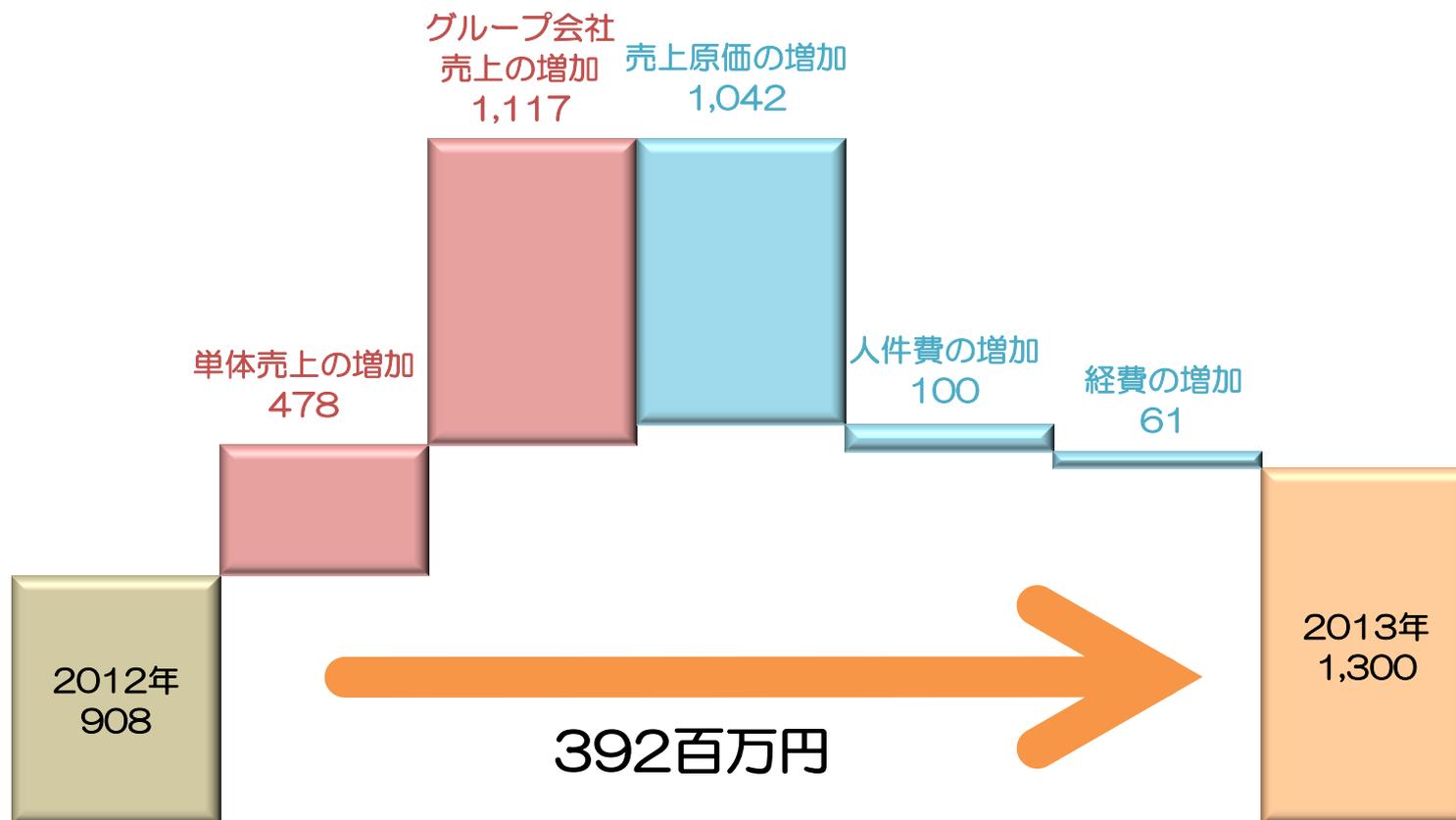
営業利益



3-4 連結売上高増収計画の内訳



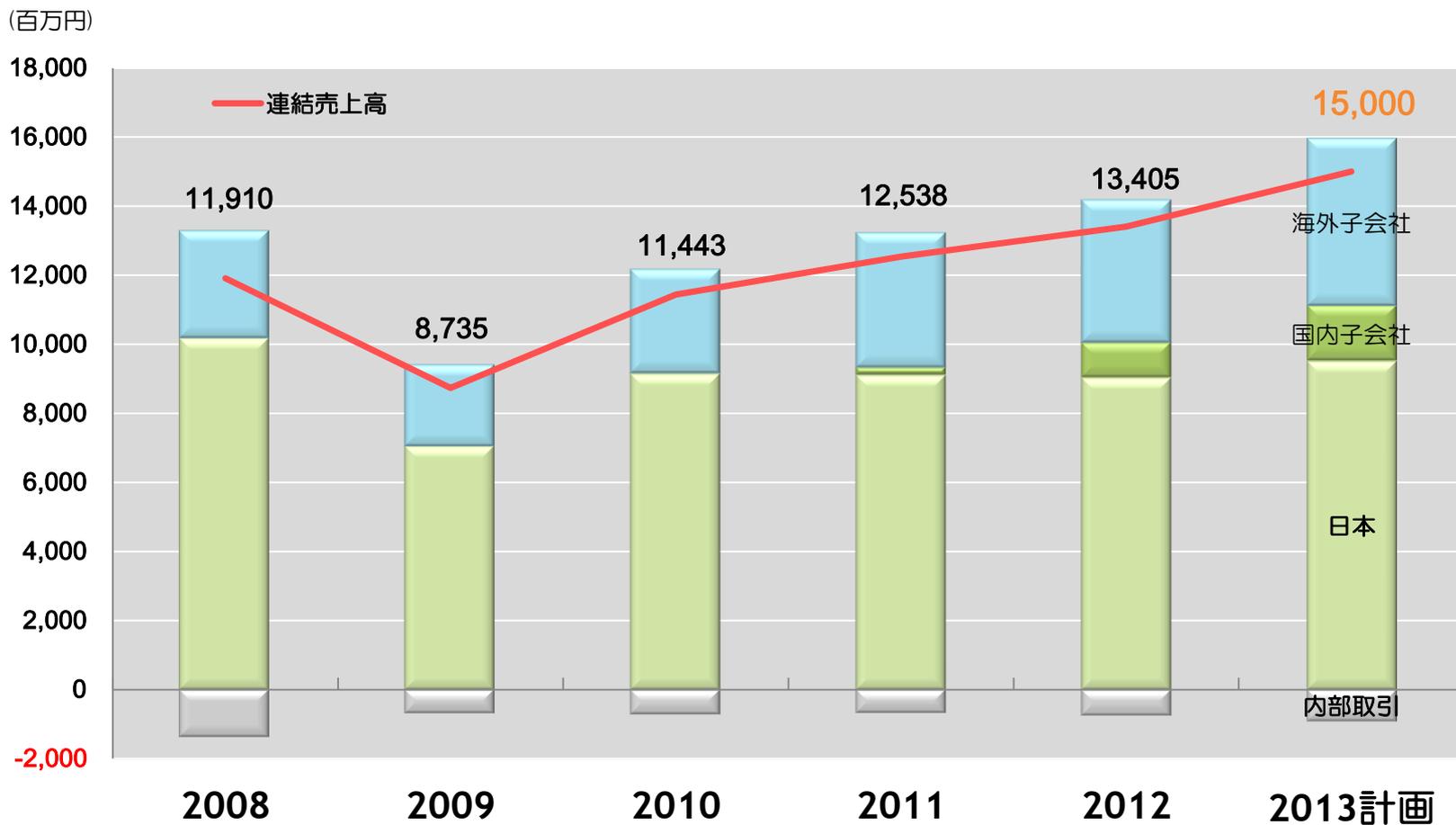
3-5 連結営業利益計画の増減要因



3-6 連結売上高及び利益の推移

単位:百万円	2009 実績	2010 実績	2011 実績	2012 実績	2013 計画	増減率
売上高	8,735	11,443	12,538	13,405	15,000	11.9%
営業利益	635	1,031	1,078	908	1,300	43.1%
経常利益	808	1,036	1,046	975	1,300	33.3%
当期純利益	396	652	568	459	800	74.3%

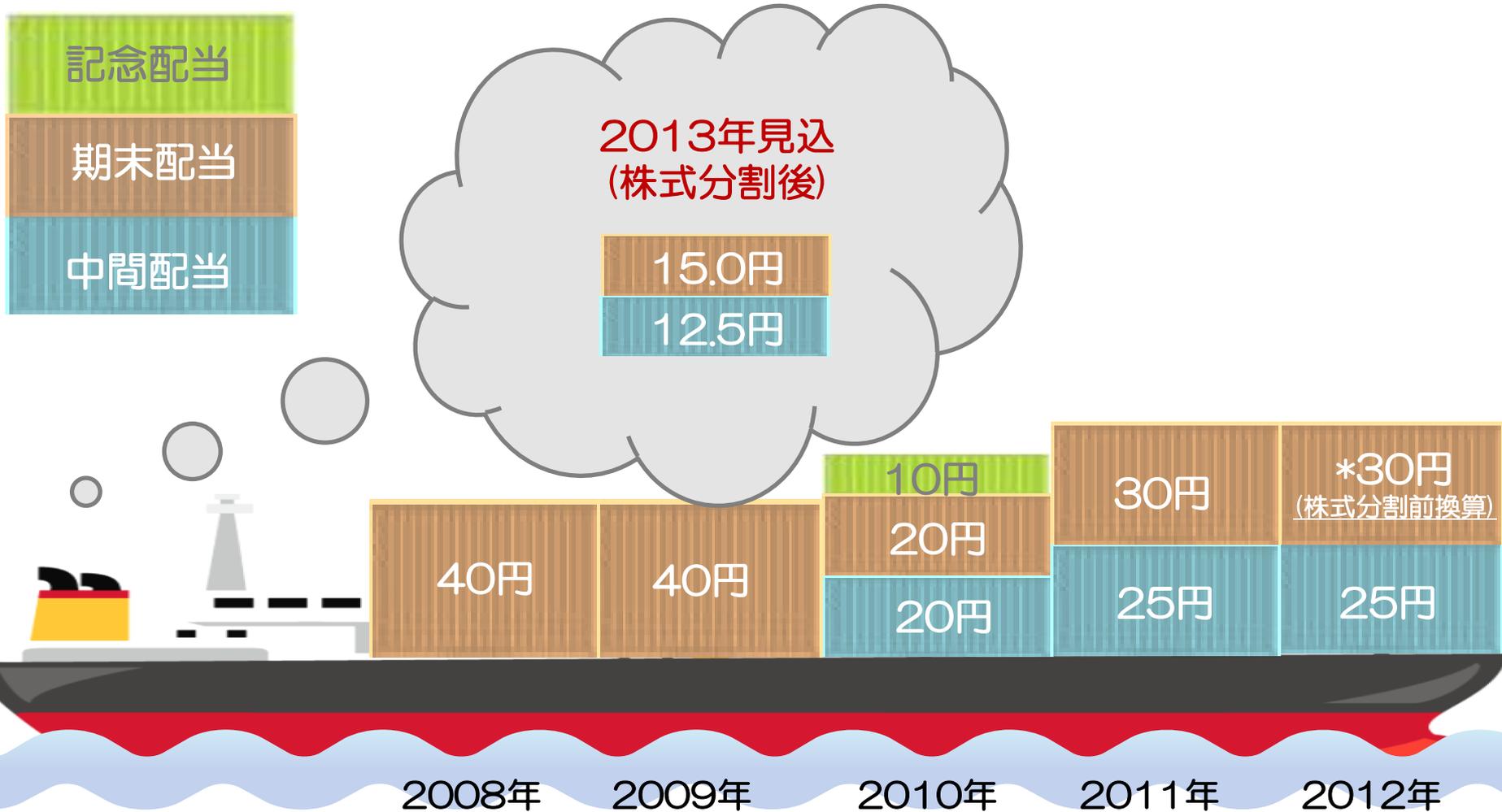
3-7 連結売上高の内訳推移



IV. 株主還元



4-1. 配当方針



* 2012年6月末を基準日として1：2の株式分割を実施

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

取締役経営企画部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

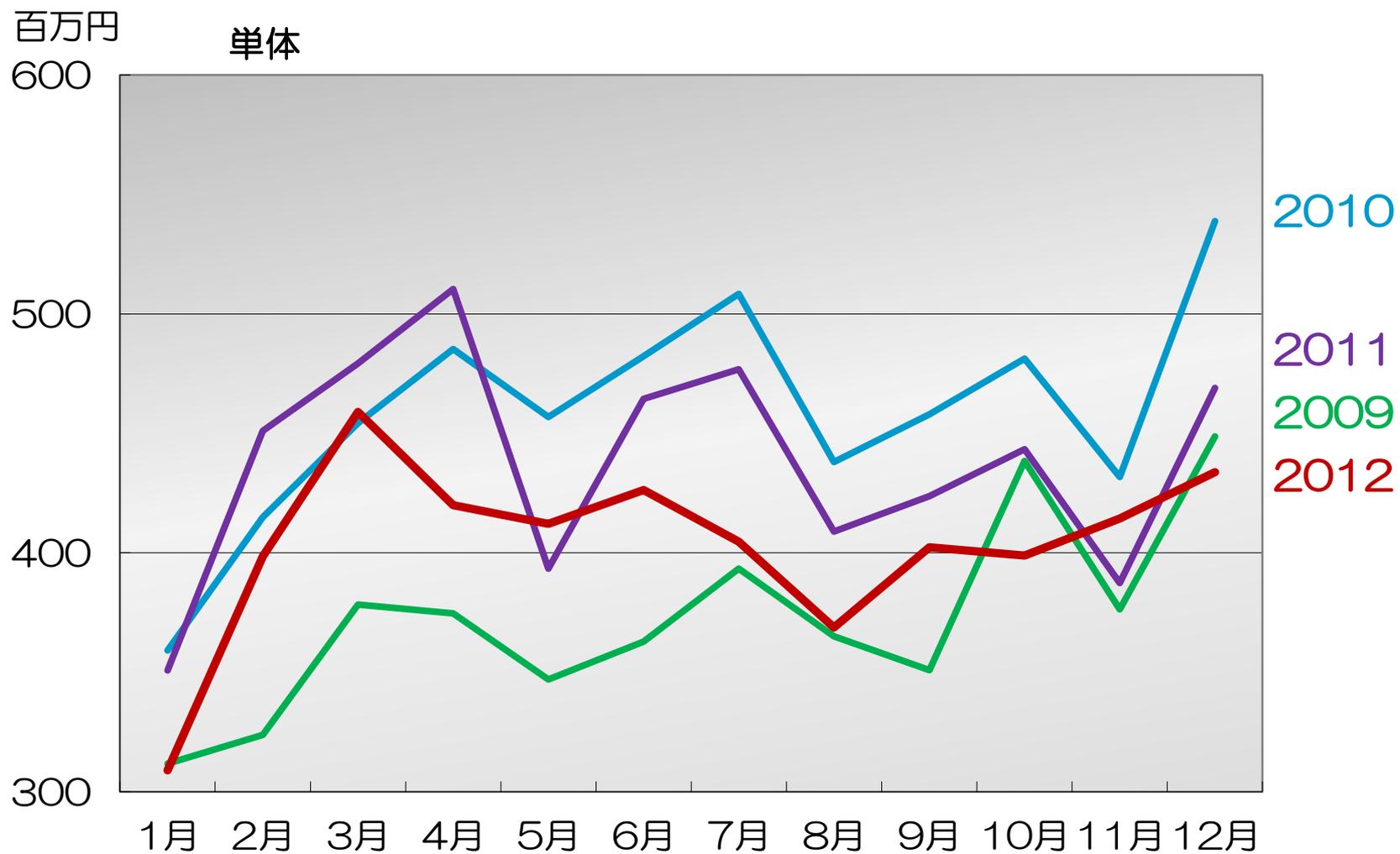
URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。

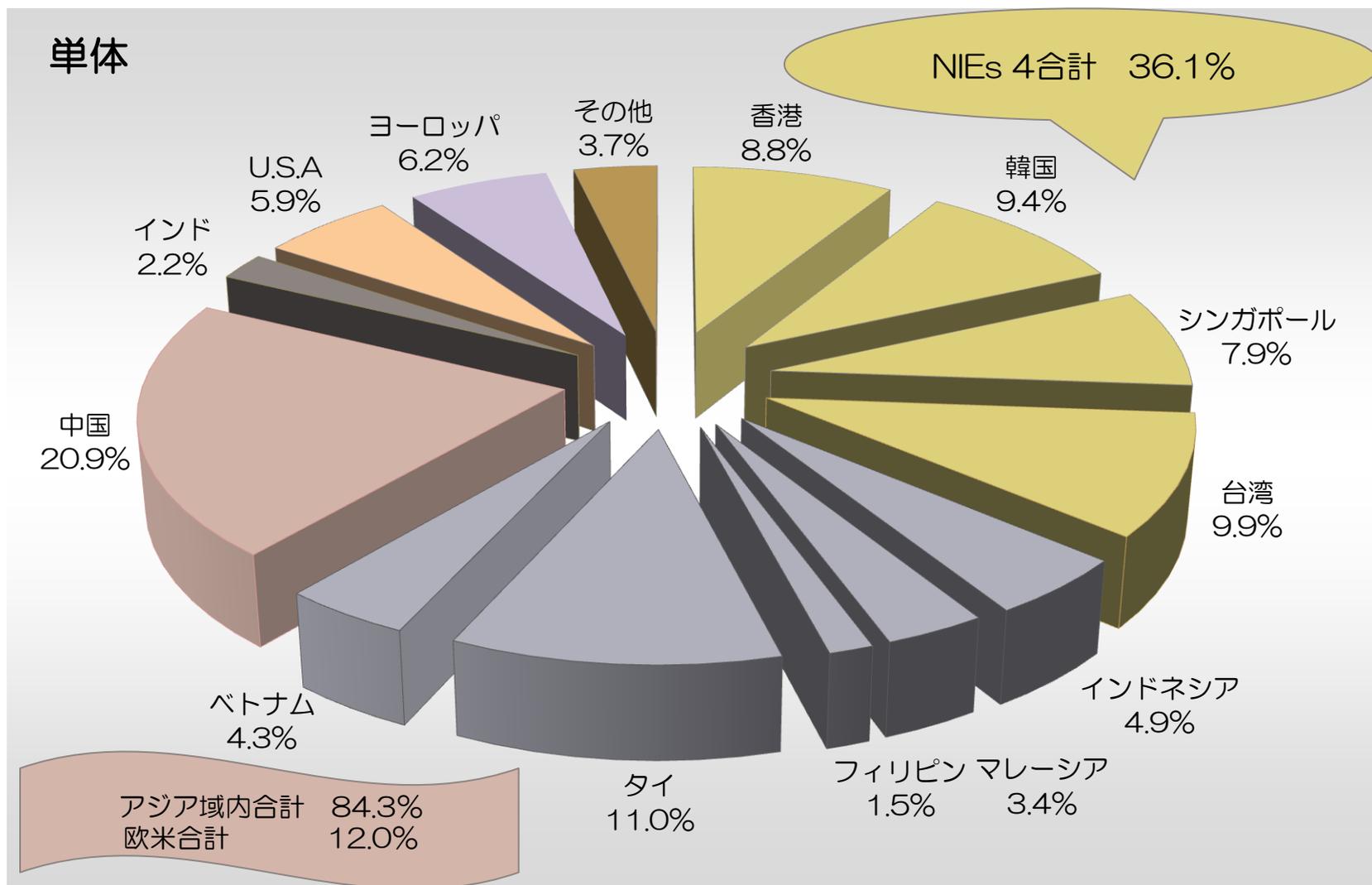
(参考-1) 単体売上高及び利益の推移

単位：百万円	2009 実績	2010 実績	2011 実績	2012 実績	増減額	増減率
売上高	7,054	9,137	9,096	9,022	-74	-0.8%
営業利益	447	754	748	646	-101	-13.6%
経常利益	621	781	975	911	-64	-6.6%
当期純利益	222	470	586	438	-147	-25.2%

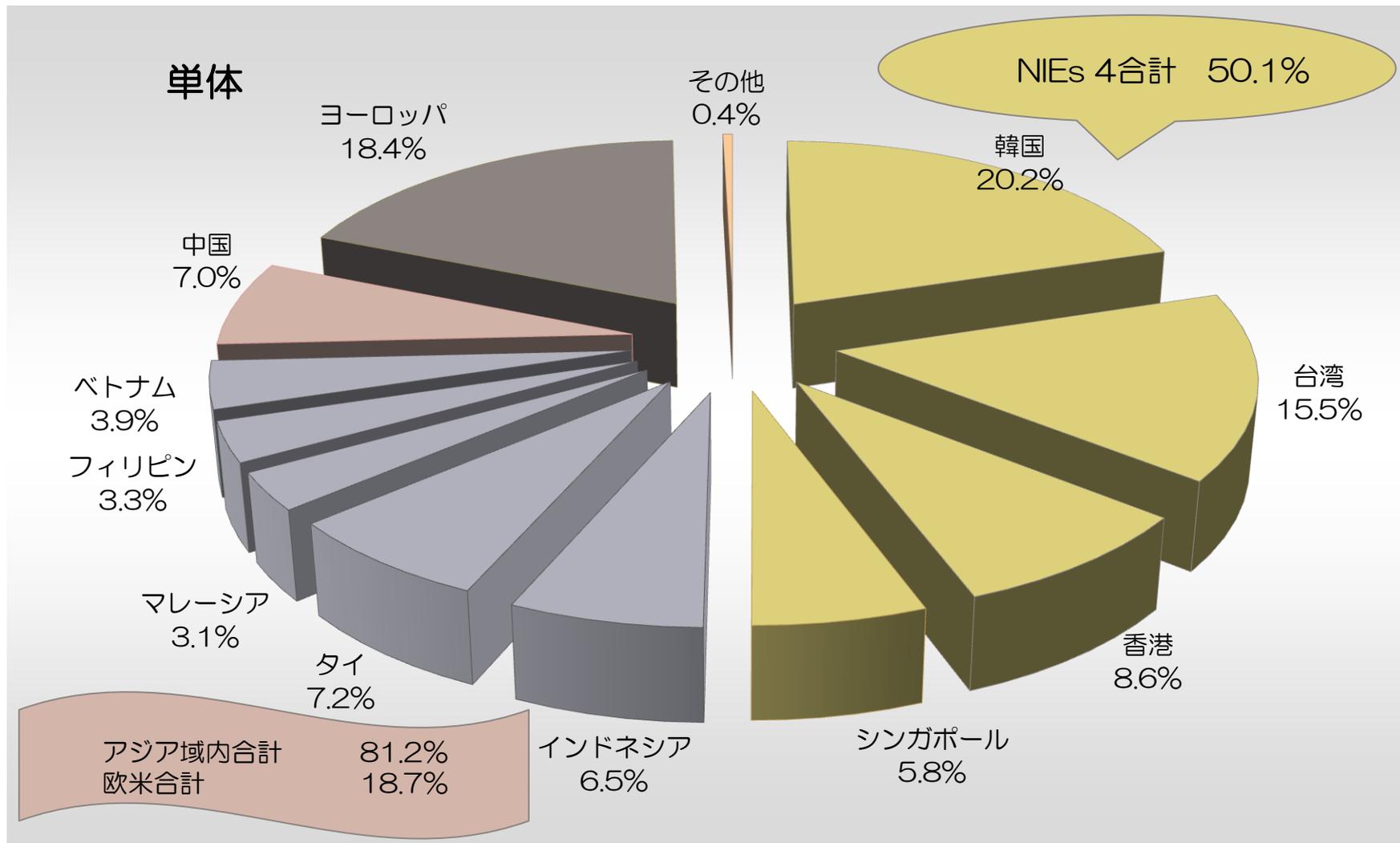
(参考-2) 最近4年間の輸出混載売上実績推移



(参考-3) 当社輸出混載の仕向地別内訳



(参考-4) 当社輸入混載の積地別内訳



(参考-5) 今期計画の前提 (為替相場の想定)

為替レート

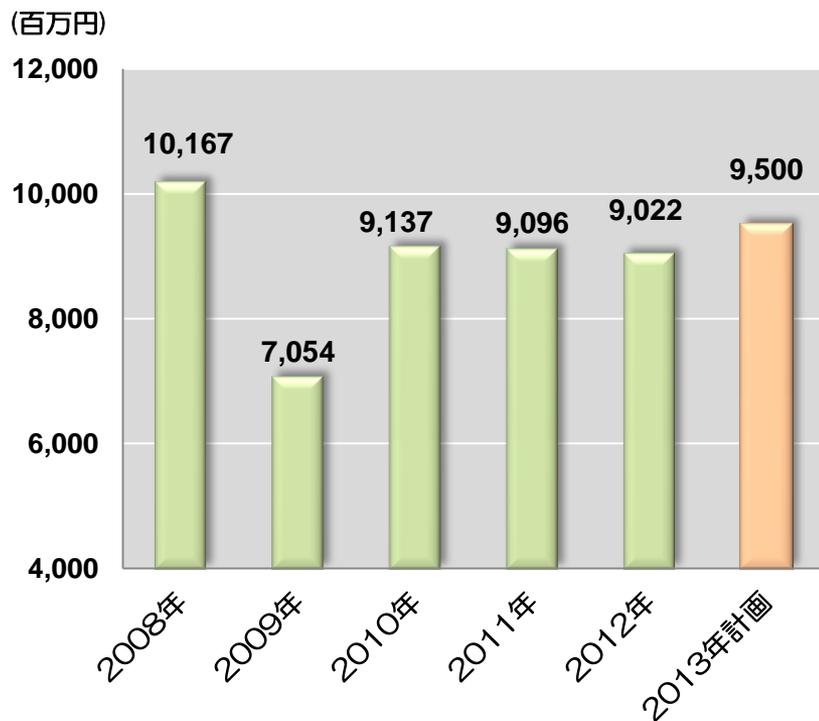
予算策定レート = **85** 円

対USドル1円の変動による
単体への影響額

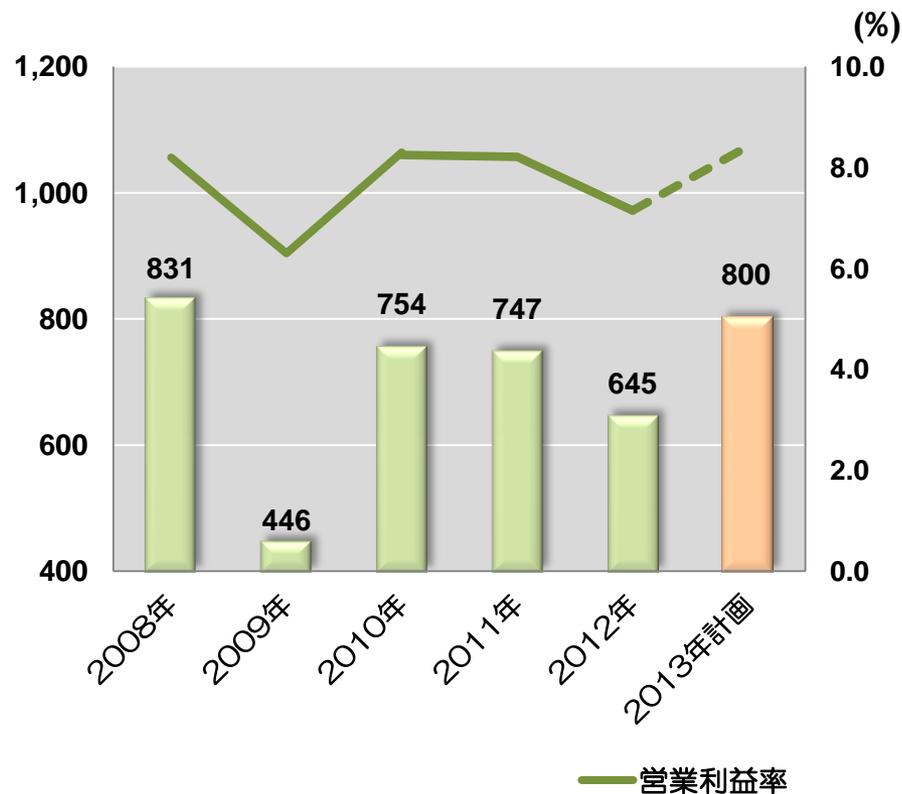
売上高	47 百万円
粗利	15 百万円

(参考-6) 単体売上高と営業利益の推移と今期計画

売上高



営業利益



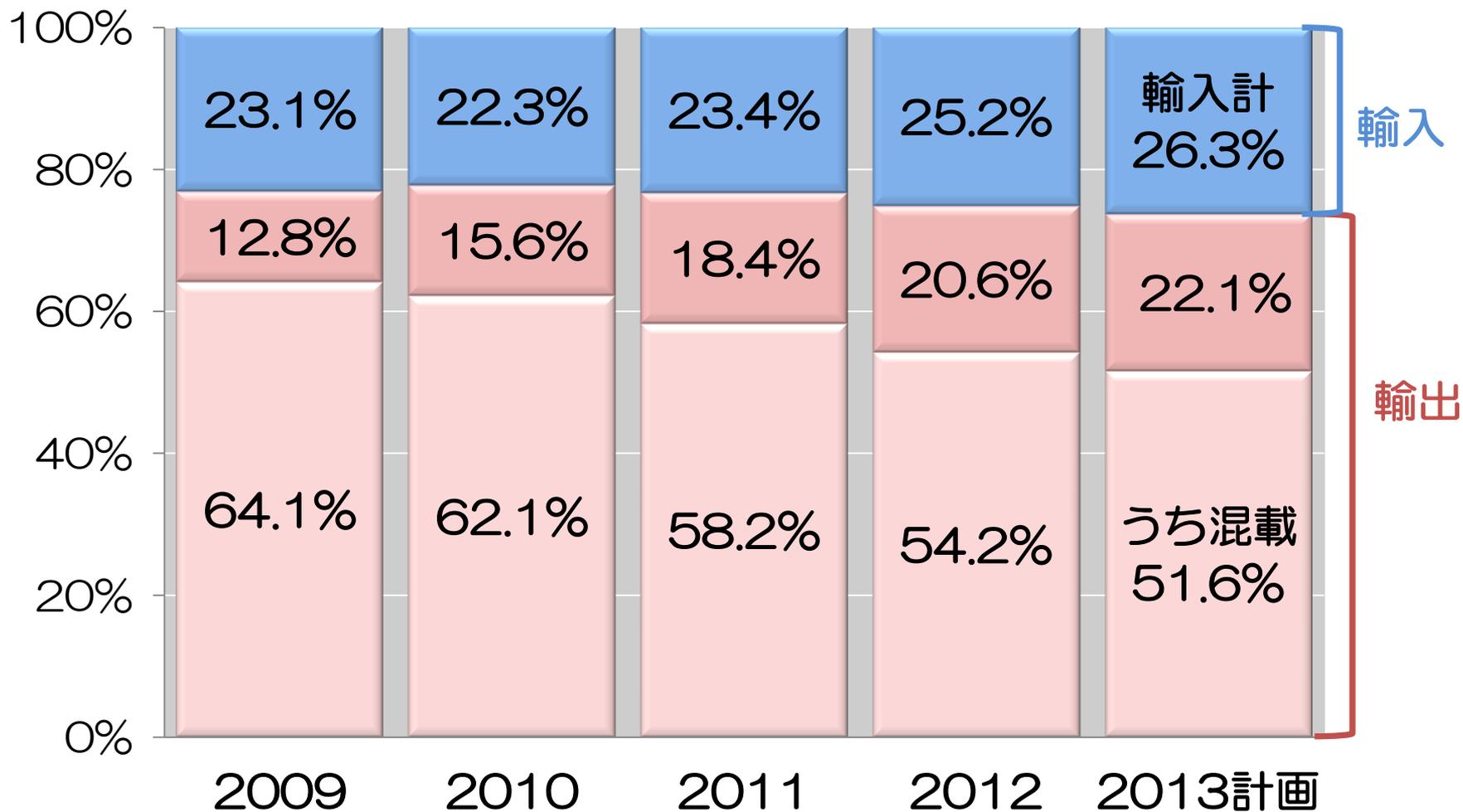
(参考-7) 単体サービス別販売数量計画

単位：千RT	2012 実績	2013 計画	増減額	増減率
輸出混載	493.7	500.0	6.3	1.3%
輸出フルコンテナ	453.4	500.0	46.6	10.3%
輸出その他	17.5	20.0	2.5	14.3%
輸出計	964.5	1,020.0	55.5	5.8%
輸入混載	223.1	230.0	6.9	3.1%
輸入フルコンテナ	309.4	350.0	40.6	13.1%
輸入計	532.5	580.0	47.5	8.9%

(参考-8) 単体サービス別売上計画

単位：百万円	2009 実績	2010 実績	2011 実績	2012 実績	2013 計画	増減額	増減率
輸出混載	4,519	5,677	5,296	4,889	4,900	11	0.2%
輸出フルコンテ	903	1,423	1,560	1,648	1,832	184	11.1%
その他	0	0	116	212	268	56	26.4%
輸出計	5,422	7,100	6,972	6,750	7,000	251	3.7%
輸入混載	1,359	1,559	1,576	1,602	1,700	98	6.1%
輸入フルコンテ	273	478	549	671	800	129	19.2%
輸入計	1,632	2,037	2,125	2,273	2,500	227	10.0%
総合計	7,054	9,137	9,097	9,022	9,500	478	5.3%

(参考-9) 単体サービス別売上構成比の推移



(参考-10) 航空事業の実績と計画

単位：百万円

